

5 石巻市(いしのまきし)

構成市町村	石巻市、桃生郡河北町、同郡雄勝町、同郡河南町、同郡桃生町、同郡北上町、牡鹿郡牡鹿町	
合併期日(方式)	平成17年4月1日(新設合併)	
事務所の位置	〒986-8501 石巻市日和が丘1-1-1(旧石巻市役所) 0225-95-1111	
人口	174,778人(H12国調)	555.58平方km(H16.10国土地理院)
協議会名	石巻地域合併協議会	
設立	平成15年7月25日設立	平成17年3月31日解散
開催状況	平成15年8月7日～平成17年3月14日(計28回)	
組織	会長	石巻市長 土井 喜美夫
	副会長	桃生牡鹿町村会会長 河北町長 太田 実(H15.7.1～H16.4.9) 雄勝町長 山下 壽郎(H16.4.10～H17.3.31) 石巻市議会議長 佐藤 健治(H15.7.1～H16.1.15) 内海 源助(H16.1.16～H16.5.5) 松川 昭(H16.5.6～H17.3.31) 桃生牡鹿町村議会議長会副会長 北上町議会議長 武山 吉夫(H15.7.1～H16.4.1) 北上町議会議長 佐藤 功(H16.5.12～H17.3.31)
	委員	37人(会長、副会長を含む。)
事務局	19人体制(石巻市6人、他6町各2人、県1人) 県石巻合同庁舎内	
経過		
平成14年7月3日	石巻地域10市町で「石巻広域合併調査研究会」設置	
平成14年11月19日	矢本町議会は石巻地域10市町による合併特例法期限内の合併は現実的でないとして、鳴瀬町、河南町との3町案か鳴瀬町との2町案を基本とするよう矢本町長に申入れ	
平成14年12月9日	菅原康平石巻市長が石巻ルネッサンス館をめぐる問題の責任を取り辞任	
平成14年12月26日	第4回研究会の席上、矢本、鳴瀬、女川の3町長が任意協議会への不参加を表明	
平成15年2月5日	第5回研究会の席上、牡鹿町長が女川町との合併を目指すとして任意協議会への不参加を表明	
平成15年2月24日	矢本、鳴瀬、牡鹿、女川の4町を除く6市町で「石巻地区1市5町任意協議会」設置	
平成15年3月17日	石巻市、河北町、雄勝町、河南町、桃生町、北上町を合併重点支援地域に指定	
平成15年3～4月	女川町の町民意識調査の結果、6割以上が単独を選択(どことも合併せず単独19.2%、当面単独でその後は状況により判断47.1%、牡鹿町と合併4.7%、牡鹿町と合併しその後は状況により判断9.5%、他町と合併3.2%、石巻広域合併9.3%、わからない7.0%)	
平成15年5月15日	第4回任意協議会で牡鹿町の加入を承認。「石巻地区1市6町任意合併協議会」に改称	
平成15年5月27日	牡鹿町を合併重点支援地域に追加指定	
平成15年6月～7月	各市町議会で法定協議会設置議案を可決(河南町6/10、北上町6/18、雄勝町6/20、牡鹿町6/23、石巻市7/7、河北町7/22、桃生7/23)	
平成15年7月25日	法定協議会設置	
平成16年3月25日	河北町議会本会議で合併協議会からの離脱を申し入れる旨の議案を可決	
"	河北町長が合併協議会会長に離脱を申し入れ	
平成16年5月26日	河北町を除く6市町で「石巻地域1市5町合併協議会」設置。「石巻地域合併協議会」を休止	
平成16年6月14日	河北町議会は、直接請求による住民投票条例案を全会一致で可決	
平成16年7月11日	河北町の住民投票の結果、合併賛成4,857票(57.5%)、反対3,597票(42.5%)	

平成 16 年 8 月 11 日	河北町長が合併協議会会長に合併協議会への復帰を申入れ
平成 16 年 8 月 19 日	「石巻地域合併協議会」を再開
平成 16 年 10 月 30 日	合併協定調印式
平成 16 年 11 月 9 日	石巻市議会で合併関連議案すべてを可決
平成 16 年 11 月 10 日	石巻市を除く 6 町の議会で合併関連議案が提案され、桃生町議会（廃置分合議案を否決）以外の 5 町の議会においては、全議案を可決
平成 16 年 11 月 19 日	桃生町議会で再提案された合併関連議案を可決
平成 16 年 11 月 24 日	廃置分合申請
平成 16 年 12 月 16 日	県議会で廃置分合議案可決
”	知事の廃置分合決定
平成 17 年 1 月 17 日	官報告示
平成 17 年 2 月 1 日	新市の職務執行者を山下壽郎雄勝町長に決定
平成 17 年 4 月 1 日	石巻市誕生

【総括】

当初、石巻地域広域行政圏の 1 市 9 町で特例市の実現を視野に検討が進められたものの、矢本町、鳴瀬町は合併特例法の期限（平成 17 年 3 月末）内での広域合併は困難との判断などから 2 町による合併を選択。また、女川町は時間的な制約や原発立地の地域事情を理由に合併協議への参加を見送り。

広域の枠組みへの参加を見送った 3 町においても、特例市の実現をはじめとする広域合併の意義に対する一定の理解が示されており、将来的な広域合併への可能性を秘めた形での再編

中心都市石巻市対周辺 6 町という基本的な構図の中での合併協議は、合併方式、石巻市の退職手当組合への加入問題などをめぐり、たびたび深刻な状況に直面したものの、首長や議会選出の協議会委員による強いリーダーシップが発揮され、これを克服

また、河北町の離脱は、一時的に合併協議の停滞を招いたものの、河北町内における激しい議論を経た上で実施された住民投票により、住民の合併に対する意思が明確に確認されたことで、結果的にはその後の合併推進の原動力に。

最終的には県下第 2 の拠点都市である石巻市を中心とする相互依存度の高さと、地方分権時代の主役としての規模・能力拡大に対する強い意欲が合併を成就させたもの。